

国民年金

「免除・猶予制度」

会社を辞めたばかりでお金に余裕がない方や働いていない学生さん。
国民年金の毎月の保険料って少しツライなァ…って、思っていないか。
でも未納のままにしておくと、将来、年金が受け取れなくなるかも。
保険料を納めるのが難しい方にぜひ知ってもらいたい制度です。

まさかのためにも
国民年金はかけておきたい。
でも開業したばかりだし、
毎月の保険料は少しツライなあ…



ご存知
ですか？

保険料を納めるのに困りなら・・・



保険料を払うのが
経済的にツライのですが、
どうすればいいですか。

国民年金の保険料を納めるのが
難しい方に知ってほしい

4つの
制度

制度
1

経済的に保険料が納められない方に「申請免除」制度

収入の減少や失業等により保険料を納めることが経済的に難しいとき、
保険料の全額または一部が免除されます。

- * 審査対象者：本人・配偶者・世帯主
- * 承認期間：保険料の納付期限から2年を経過していない期間
- * 審査は年度単位（7月～翌年6月）で行います。

制度
2

50歳未満の方に「納付猶予」制度

50歳未満の方（学生以外）で、働いていないなどの理由で生活に余裕がない場合、
保険料が猶予されます。

- * 審査対象者：本人（50歳未満）・配偶者
- * 承認期間：保険料の納付期限から2年を経過していない期間
- * 審査は年度単位（7月～翌年6月）で行います。

制度
3

20歳以上の学生さんに「学生納付特例」制度

学生で前年所得が基準以下の場合、在学期間中の保険料が猶予されます。

- * 審査対象者：学生本人
- * 承認期間：保険料の納付期限から2年を経過していない期間
- * 審査は年度単位（4月～翌年3月）で行います。

制度
4

障害基礎年金や生活保護を受けている方に「法定免除」制度

障害基礎年金、障害厚生（共済）年金の1級・2級の受給権者、
生活保護法による生活扶助を受けている方、ハンセン病療養所、
国立保養所などに入所している方は保険料が免除されます。

- * 法定免除に該当する方でも保険料の納付を申し出ること、前納や口座振替を利用して保険料を納められます。

災害



失業



障害



学生



退職



ご存知
ですか？

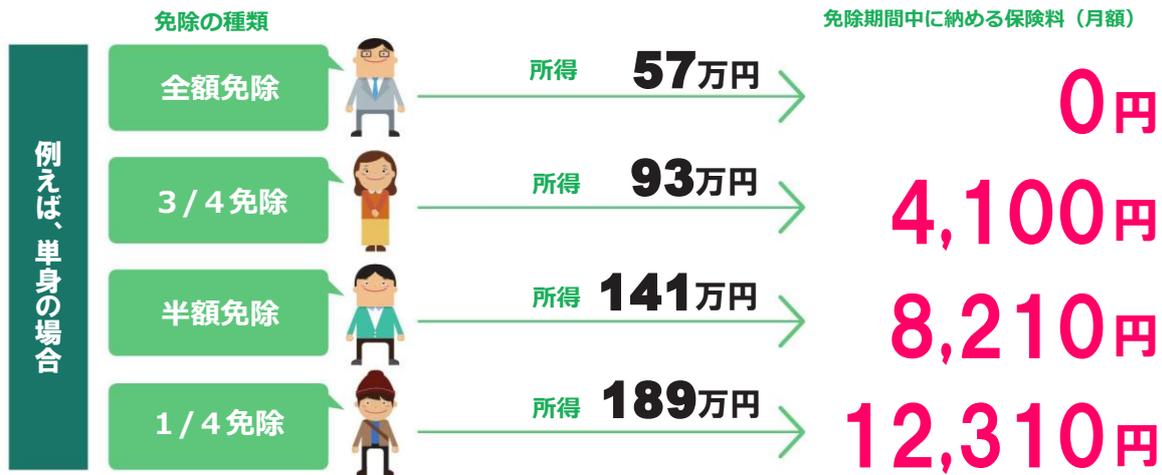
まさかに備えて、免除を受けよう

保険料を納めるのが難しい場合は
所得によって「全額免除」か「一部免除」があります。

◎全額免除：保険料月額を全額を免除

◎一部免除：保険料の「4分の3」、「半額」、「4分の1」を免除 *免除申請は年度ごとの手続きが必要です。

免除制度の手続きをすると (令和元年度)



免除されると将来の年金は

	老齢基礎年金		障害基礎年金・遺族基礎年金
	年金の受取資格	年金額	年金の受取資格
全額免除	○	8分の4	○
3/4免除	○	8分の5	○
半額免除	○	8分の6	○
1/4免除	○	8分の7	○
納付猶予	○	×	○
学生納付特例	○	×	○
保険料未納	×	×	×

！ ご注意ください！

一部免除の期間中、必要な保険料を納めないで「未納」とみなされ、年金を受け取れなくなったり、年金額が減ったりします。

ご存知
ですか？

猶予と追納って、ナニ？

「学生納付特例」制度（ガクトク）

学生の間納付料を猶予し、
社会人になってから納める制度です。

- ◎学校教育法に定める、大学・大学院・短大・高等学校・専門学校などに1年以上通われている20歳以上の学生が対象です。
* 修業年数が1年以上の課程に在籍している方。
- ◎申請には、アルバイトなどで得た前年の所得基準などの審査があります。
- ◎世帯主（親）、配偶者の所得は関係しません。



「納付猶予」制度

納付料を納めるのが難しい50歳未満の方の
納付料を一定期間猶予する制度です。

- ◎50歳未満の方が対象です。（学生は対象外です。）
- ◎申請には、本人（結婚している場合は配偶者を含む）の前年所得などの審査があります。ただし、同居する世帯主（親）の所得は問いません。



免除・猶予・学特制度を受けた場合、将来受け取る年金額が少なくなります。

将来に受け取る年金額を増やすために

納付料の「追納」ができます。

免除・猶予・ガクトクを受けた場合、納付料を全額納めた場合と比べ、年金額が減額されます。将来受け取る年金額を増やすために、10年以内であれば免除等を受けた期間の納付料をさかのぼって納める「追納」ができます。

- * ただし、3年度以上さかのぼって納付料を納める場合は、当時の納付料に一定額が加算されます。
- * お申し込みは、年金事務所でお手続きください。

ご存知
ですか？

お手続き

1 手続き先

お近くの**年金事務所**または
市区町村の年金窓口でお手続きください。



ご本人



年金事務所・
市区町村の年金窓口

1 必要書類



申請書



年金手帳



(学生の場合)
学生証または
在学証明書



(失業の場合)
雇用保険
受給資格者証
など

- 申請書は年金事務所または市区町村の年金窓口で配布しています。
- 年金手帳**などが必要になりますのでご持参ください。
- 学生の場合は**学生証**または**在学証明書**、失業の場合は離職日が記載された**離職票**や**雇用保険受給資格者証**などの写しが必要です。
- 申請内容により提出いただく書類が異なりますので、事前に年金事務所または市区町村の年金窓口でご確認ください。

1 手続きの流れ

1 申請書を提出ください。

申請書は、市町村の年金窓口
またはお近くの年金事務所
でお受け取り下さい。

2 審査は2～3ヵ月 かかります。

審査にあたっては、市区町村などから
文書・電話などでお問い合わせする
場合があります。

*ただし、必要書類が整わない場合にはさらに期間を要する
場合があります。

4 免除・猶予・ ガクトクの承認。

「免除・猶予」が承認された場合の
適用期間は7月～翌年6月、ガクトクは
4月～翌年3月までの1年間です。

*原則、毎年申請が必要です。

3 審査通知書 を送ります。

日本年金機構より「審査結果」の
通知書を送ります。

パンフレットをご覧のみなさまへ



「免除・猶予」制度の申請や
年金の給付については、詳細な条件があります。

一般的な国民年金に関するお問い合わせは

ねんきんダイヤル

0570-05-1165 (ナビダイヤル)

050 ではじまる電話で
おかけになる場合は

03-6700-1165 (一般電話)

受付時間

月曜日	午前 8 : 30 ~ 午後 7 : 00
火 ~ 金曜日	午前 8 : 30 ~ 午後 5 : 15
第 2 土曜日	午前 9 : 30 ~ 午後 4 : 00

※月曜日が祝日の場合は、翌日以降の開所日初日に午後 7 : 00 まで相談をお受けします。

※祝日 (第 2 土曜日を除く)、12 月 29 日 ~ 1 月 3 日はご利用いただけません。

※お電話のおかけ間違いにご注意ください。

詳細については、お近くの年金事務所
または市区町村の窓口にお問い合わせください。